小児外科専門医プログラム

プログラム責任者
小児外科学講座
水野　大　病院教授

専門研修担当者連絡先
渡部　亮　助教
TEL.018-884-6143　FAX.018-836-0567
E-mail　ryowata@gipc.akita-u.ac.jp
HP　https://www.med.akita-u.ac.jp/~syouge/

プログラムの特徴

小児外科専門医の取得には小児外科認定施設（全国約100施設、国公立大学では24施設）において3年以上の小児外科研修が必要とされています。

当科は小児外科認定制度発足後、すぐに小児外科認定施設に認定され、以来、多くの小児外科専門医が育っています。

秋田県唯一の小児外科認定施設で、年間入院患者数は約150人、年間手術数は約120件で、小児外科指導医のもと、小児外科専門医をめざす医師には充分な臨床経験が可能となっています。

小児外科研修カリキュラムは日本小児外科学会認定施設の専門医教育カリキュラム基準に則ってⅠ～Ⅴまで内容が設定されており、小児外科専従3年間の間に専門医に必要な臨床研修が受けられるようになっています。

プログラムの説明

小児外科専門医の取得の条件として申請時に日本外科学会専門医の資格を有していること、さらに小児外科学会認定施設で専従医として、3年以上の小児外科研修を終了していることが必須となっています。平成30年度から新専門医制度が始まり、外科専門医を取得するためには日本外科学会で認定された外科専門医プログラム（各都道府県にそれぞれプログラムがあり、秋田県ではあきた外科専門医プログラムがあります。）に登録し、基幹病院と関連病院で合わせて3年間の外科研修を受けることが義務づけられています。このため、通常は卒後3～5年は外科専門医プログラムに沿って外科研修を行い、卒後6年目以降に小児外科学会専門医取得のための小児外科研修を受けることになります。最短で卒後8年終了時には小児外科専門医が取得できることになります。また社会人大学院に入り、小児外科研修を受けながら同時に医学博士を取得できるコースも選択できます。大学院入学の時期については、個人の希望や小児外科研修の状況に応じて調整しています。なお、国内の他の小児外科学会認定施設（東京などの小児病院）で1～2年程度の小児外科研修を組み入れることも可能となっています。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設 など

■各種学会専門医、指導医

日本外科学会専門医：2名、日本外科学会指導医：2名、
日本小児外科専門医：1名、日本小児外科学会指導医：2名

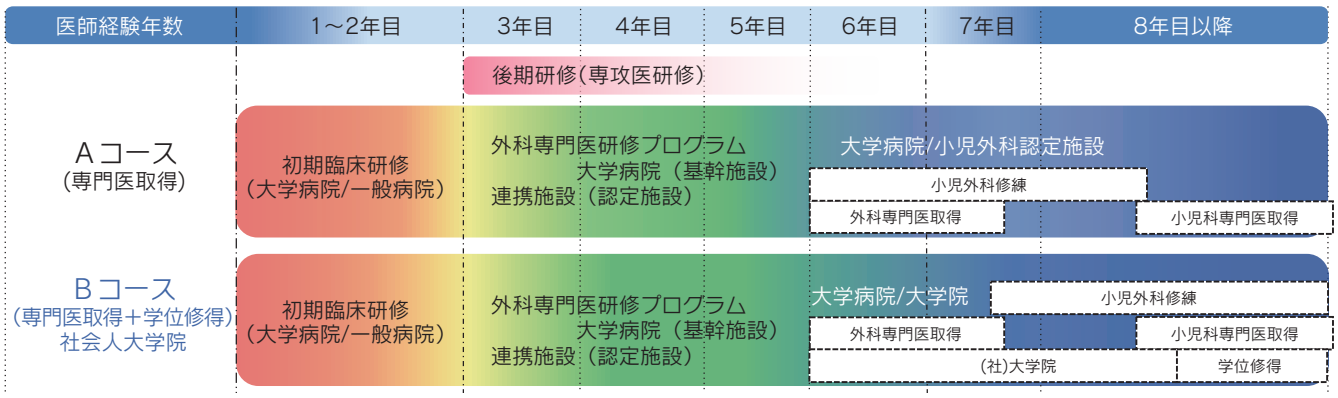
■各種学会施設認定

日本小児外科学会認定施設

こどもの未来のために……いま、小児外科専門医が求められています！

小児は成人のミニチュアではありません。小児科が成人の内科から独立しているように、外科疾患をもつこどもの診療には、小児特有の疾患やその生理学的、解剖学的特徴を良く理解した専門医が必要です。日本では小児外科の概念が発足してまだ60年足らずですが、この間に新生児外科疾患の死亡率は50%から7%に減少し、胆道疾患や小児がんの治療成績も飛躍的に向上してきています。また、小児外科の診療に関しては救命だけでなく、こどもの将来の成長、発達を考慮した手術、治療が必要です。今、全国で小児外科専門医はまだ数百人と少なく、小児外科専門医の育成が強く望まれています。小児外科疾患を有するこどものために、小児外科専門医を目指す若い人が増えることを期待しています。

■取得までのキャリアパス



◆主要なサブスペシャルティ：小児外科専門医